

■ アジア太平洋無形文化遺産研究 センター（IRCI）の活動例



（IRCI所長 荒田明夫）

世界各地には、それぞれの地域の人々に大切に継承されてきた伝統文化があります。しかしながら、近年の急激な工業化に伴う村落の過疎化や環境破壊、紛争などにより、絶滅の危機に瀕しているものも少なくありません。IRCIは、無形文化遺産の保護が国際的に充実することを目指して、開所以来、アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究及び情報収集、研究者や研究機関のマッチング活動などに携わっています。

こども達の住む未来が、伝統が育んできた素晴らしい文化であふれているよう、私たち一人ひとりが文化遺産の継承者であるという意識を持って調査研究に取り組んでいます。

◇ 無形文化遺産保護に関するシンポジウム



パネルディスカッション
「危機に瀕する無形文化遺産の復興と継承を考える」



芸能公演 「早池峰神楽」

アジア太平洋無形文化遺産研究センター開設記念シンポジウム
(2011年10月4日)



パネルディスカッション
「無形文化の力と無形文化遺産保護条約の使命」



芸能公演 「カンボジアの宮廷舞踊」

無形文化遺産保護条約採択10周年記念シンポジウム (2013年8月3日)

◇ 無形文化遺産保護に関する
ワークショップ



無形文化遺産の記録と活用の
ワークショップ

◇ 無形文化遺産保護に関する
国際会議



無形文化遺産保護に関する
調査研究の把握と検討

◇ 無形文化遺産保護に関する調査研究



紛争後の国家における危機に瀕する伝統的手工芸
(スリランカ調査)



消滅の危機に瀕する無形文化遺産の保護
(ベトナム調査)

◇ 無形文化遺産保護に関する研修



東ティモール無形文化遺産担当者
向けスタディツアー

◇ 無形文化遺産保護に関する情報収集と情報発信

IRCIでは、無形文化遺産保護に関する情報を収集・公開するとともに、IRCIの活動を
紹介するためにウェブサイト을設けています。センターのウェブサイトは以下のURLから
ご覧になれます。
<http://www.irci.jp/>

